

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-4-3 母子保健の推進
---------	-----------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 知念 希和	電話番号	0852-22-5248
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	母と子の健康支援事業		
目的	(1) 対象	子どもと保護者及び母子保健関係者	
	(2) 意図	子どもとその保護者が正しい知識を習得し、相談等により悩みや不安を解消して、安定した生活を送ることができるようにする。また、その支援者の知識・スキルの向上を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期療養児支援事業：日常生活における悩みや不安の解消を図るため、長期療養児及びその保護者に対して、相談・訪問・親子交流会を実施する。</li> <li>○医療的ケア必要児等ハイリスク児保健・医療連携事業：医療的ケア必要児等ハイリスク児の退院後の家庭生活を支援するため、関係者の連携を図り、対象者の支援を行う。</li> <li>○母子保健専門人材育成事業：母子保健関係者の専門的技術の向上を図るため、保健所・市町村・在宅の有資格者等の母子保健関係者に対して、研修会等を開催する。</li> <li>○母子保健評価検討事業：広域的かつ専門的な立場で、母子保健事業の評価を行うとともに、市町村の母子保健事業に関する助言、支援を行う。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	相談指導事業及び研修会参加者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		1,480	1,460	1,440	1,420	
式・定義	長期療養児相談・訪問・交流会、ハイリスク児等訪問、母子保健研修会の参加者数（出生数の減少を考慮）	実績値	1,500	1,555	1,377	1,420		人	
		達成率		105.10	94.30	98.70		%	
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	6,999	2,800
うち一般財源(千円)	6,621	2,191

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期療養児、医療的ケア必要児等ハイリスク児について、医療機関から連絡票や電話により入院中から早期に支援を開始する事例が増えて来ており、1,007件の相談、訪問及び親子交流会を開催した。</li> <li>・母子保健関係者研修会を開催し413名が受講した。</li> <li>・島根県乳幼児健康診査マニュアル（案）を作成した。</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期療養児の支援については、入院中から地域の支援機関と医療機関が連携し、在宅に向けてスムーズな移行ができてきた。</li> <li>・関係者向け研修会については、研修内容や開催時期・方法について、関係者の意向を聞きながら開催してきているので、近年は受講者が増加している。</li> <li>・1歳6か月児においては、県乳幼児健康診査マニュアル（案）に基づいた健康診査がモデル実施され、発達の気になる児への早期支援の充実が図られた。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期療養児への支援について、療養期間が長期化する中で支援のあり方が問われている。</li> <li>・乳幼児健康診査マニュアル（案）では発達に関する問診項目を充実させたが、現場スタッフが十分対応できていない。</li> </ul> <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児の成長と療養期間が長期化する中で関係者の役割が変化してきているが、それについて関係機関で意思統一ができていない。</li> <li>・健康診査従事者の子どもの発達の診立てに関する知識と経験が不足している。</li> </ul> <p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援する関係機関での連携の強化</li> <li>・健康診査従事者の技術の向上</li> </ul>
---

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域単位での支援機関相互の情報共有と連携のための在宅療養支援ファイルの活用やケース検討会の開催などに努め、連携強化を図る。</li> <li>・健康診査従事者を対象にした研修会等を開催し、スキル向上を図る。</li> </ul>
--

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--